

淡路市有機農業産地づくり協議会（兵庫県淡路市）

R3補正
R4当初

34

背景・課題

淡路市では、農業、畜産業を中心とした第一次産業が盛んであり、就業者数の約10%を占める。近年では化成肥料を中心とした農業資材の高騰による農業従事者の収益圧迫が生じ、農業従事者の収益性向上が求められている。

また、農業分野においても持続可能な農業の実現が求められ、人口減少や高齢化に伴い、一次産業の担い手問題も顕在化しており、これらの課題への対応が必要である。

成果目標と達成状況

有機農業面積（R3→R6）：21.26ha→23.26ha(+9%)
 R4：21.26ha
 有機農業者数（R3→R6）：20名→23名(+15%)
 R4：20名

取組の成果

- 資材分析で地域内の堆肥の細菌数、C・N・P・K量、pH、含水率等を定量的に分析し、品質を可視化した。
- R4年7月・R5年7月の淡路市夏祭り、R5年1月オーガニックアイランドセミナー、R5年10月兵庫県民農林漁業祭ポスター出展、セミナー登壇、店頭販売を実施し、イベント参加者向けに協議会活動の周知を行った。
- R5年4月～5月 兵庫県立淡路高校農業科生徒に向けて、土壌分析に基づいた施肥設計について講演を行った。
- 協議会の活動に関心ある農業事業者が土壌分析・施肥・栽培試験に参加し、地域内で堆肥利用の実績が増加した。



牛ふん堆肥、鶏ふん堆肥を資材分析し、土壌分析の結果に基づいて、堆肥を混合・運搬・施肥を実施。



畑作、果樹農地に土壌分析の結果に基づいて施肥設計を行い、混合した地域堆肥資材を施肥した栽培試験を実施。



市内パートナー（飲食店、小売店、食品加工会社）への供給。



地域住人への周知イベントの企画・実施。教育の場での活動（淡路高校農業科）。

普及に向けた取組

堆肥を中心とした有機資材があまり使われていない地域であったため、本取組を通じて、地域の資材を活用した農業を実践した上で、掛かるコストと便益を定量化し、有機農業に取り組む農業従事者のモデルケースを示すことを目標とする。

問い合わせ先

淡路市企画情報部まちづくり政策課 TEL：0799-64-2506



淡路市

構成員

北坂養鶏場、有限会社クヌギザ、フレッシュグループ淡路島、株式会社ほくだん、淡路景観園芸学校、淡路市（事務局）

品目

ハーブ野菜、たまねぎ、水稻